



平成28年  
第2回市議会定例会  
市長報告

## 「子育て支援の徹底」「教育環境の充実」「雇用の拡大」に重点

平成28年6月7日から第2回市議会定例会が開かれ、菅谷憲一郎市長が市政運営の主な事業執行状況を報告しました。ここでは、内容を要約して紹介します。

なお、市長報告の全文は市公式ホームページに掲載しています。

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

合併から11年目を迎えました。今年度は、「第2次古河市総合計画」「古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿ったまちづくりが始まる重要な年度となります。

わたしは、第1期基本計画の市政宣言として「若者に選ばれるまちづくり」を掲げ、「子育て支援の徹底」「教育環境の充実」「雇用の拡大」の3つの施策に重点をおき、将来を見据えた持続可能な行政運営に取り組んでいます。

平成29年から本格稼働予定の日野自動車古河工場は、2,000人規模の従業員が勤務することとなります。この大きなチャンスを活かすためにも、定住促進に向けた積極的な施策を展開し、住んでよかった、ずっと住み続けたいと

思っていただけ、古河市を創造していく決意と信念を持って市政運営に取り組んでまいります。

### 地方創生の取り組み

市では3月に、人口減少社会に対応した「古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

この戦略は、人口減少と地域経済縮小の克服を基本戦略に据え、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻し、市内産業の強化と新産業の創出および定住促進を基軸とする施策を取りまとめたものです。

施策の推進に当たりましては、地方創生推進交付金、地方創生応援税制等の交付金を有効に活用し、古河市の強みを活かし、広く全国に誇れる個性ある魅力的なまちづくりを進めてまいります。

